

平成26年度 兵庫県立兵庫高等学校 学校評価票

|      |   |
|------|---|
| 年度目標 | 「質素剛健・自重自治」の具現化<br>・文武両道を目指す<br>・キャリア教育の充実<br>・マナーの向上 |
|------|---|

※自己評価の評価基準 [5:よくできた 4:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった 0:判断材料に乏しく判断できない]

| 領域   | 評価の観点                      | 評価項目              | 番号   | 具体的方針(実践目標)  | 26年度自己評価 |       |       |       |       |       | 25年評価  | 本年度の成果と次年度への課題  |
|------|----------------------------|-------------------|--|--|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--|---|
|      |                            |                   |  |  | 5 (%)    | 4 (%) | 2 (%) | 1 (%) | 0 (%) | 26年評価 |  |   |
| 学校経営 | 開かれた学校づくり                  | 保護者・卒業生・地域への情報発信  | 1  | ホームページの更新を実施し、常に新しい情報の発信を心がける                                    | 10       | 50    | 30    | 2     | 6     | 3.4   | 3.3  | ・ホームページでは昨年度より更新が進み、自己評価も若干で上がっている。部活動のページの更なる充実と組織的な取組を引き続き強める必要がある。   |
|      |                            |                   | 2  | 学年通信を通じて、学校行事の取り組みと成果、進路情報等を保護者に伝える                              | 46       | 48    | 2     | 0     | 4     | 4.4   | 4.3  | ・学年通信については、各学年とも定期的に発行され内容も充実している。保護者からは、楽しみにしているという声と手元になかなか届かないという声があり、情報の確実な伝達について工夫する必要がある。                               |
|      |                            | 学校紹介の推進           | 3  | 中学校訪問を実施し情報交換を行うとともに、広報活動をする                                     | 52       | 46    | 0     | 0     | 2     | 4.5   | 4.0  | ・学区拡大に伴い、広報活動に重点を置き、校長以下職員をあげて中学校訪問を行った。新学区のほとんどの中学校を訪問し、自由闊達な校風をPRして本校の魅力を十分に伝えることができた。平成26年度に改編した「未来創造コース」についての情報提供にも力を注いだ。 |
|      |                            |                   | 4  | 中学説明会・オープンハイスクールにおいて学校の概要説明、在校生との交流、授業見学、部活動見学を通じて、本校の特色を理解してもらう | 58       | 40    | 2     | 0     | 0     | 4.5   | 4.2  | ・広報活動に組織的に取り組んだ結果、コースの推薦入試、3月入試ともに志願倍率が大幅に上昇した。   |
|      | 教職員の資質向上                   | 情報機器の活用推進と能力の向上   | 5  | ファイルサーバーによって文書を共有化し、管理を徹底する                                      | 20       | 58    | 14    | 2     | 4     | 3.9   | 3.5  | ・共有フォルダーの活用は定着しているが、不要なファイルが残っている。各係のファイルがローカルのままであるなど、フォルダーの整理や管理についてのルール整備が必要と指摘がある。  |
|      |                            |                   | 6  | 各種委員会(人権、教育相談、情報など)や研究授業を実施する                                    | 8        | 54    | 20    | 8     | 10    | 3.4   | 3.1  | ・各種委員会については、必要に応じて会議を設定し、課題等について協議することができた。研究授業や公開授業については、特定教科でモデル実践を行うなど、一層の充実について検討する必要がある。                                 |
|      | 危機管理体制の整備                  | 防災教育研修会の実施        | 7  | 「地震防災・危機管理マニュアル」にそって危機管理体制を整備し、職員の共通認識を深める                       | 2        | 52    | 34    | 2     | 10    | 3.2   | 2.7  | ・防災避難訓練等については、計画とおりに実施できている。防災マニュアルの見直しや職員研修の実施などを通して危機管理体制を再点検し、防災教育の一層の充実を図っていく必要がある。                                       |
|      |                            | 学校管理下の事故に対する体制の徹底 | 8  | 防災避難訓練を実施し、緊急時対応マニュアルの徹底を図る                                      | 10       | 72    | 10    | 0     | 8     | 3.9   | 3.4  |   |
|      | 適正な予算執行                    | 経理事務の厳正化          | 9  | 予算執行の適正化を図るため、複数人によるチェック体制を確立する。                                 | 6        | 46    | 4     | 2     | 40    | 3.9   | 3.5  | ・職員会議での経理関係の情報提供により、「限られた予算を有効に使う」という意識は確実に定着しており、必要に応じ教室の冷房を稼働しつつも、デマンド管理は生徒・教職員の協力により適切に実施できている。                            |
|      |                            |                   | 10   | 光熱水費等の経費節減に努める   | 26       | 62    | 6     | 2     | 4     | 4.1   | 4.1  |   |
| 教育課程 | 学習指導                       | 主体的・積極的な学習態度の育成   | 11   | 授業における到達目標を明確にし、生徒の主体性を高めるような学習指導を行う                             | 24       | 54    | 12    | 2     | 8     | 3.9   | 3.8  | ・生徒の塾依存率が高まっているのではないかと感じている教員が増えている。最終的に目指す学力を明確にし、「授業と自学自習を中心に主体的に学習すること」を生徒にしっかりと指導する必要がある。                                 |
|      |                            |                   | 12   | 必要に応じて適切な課題を与え、家庭学習の充実を図る  | 24       | 62    | 10    | 0     | 4     | 4.0   | 4.0  | ・研究授業、公開授業等を活用した研修を通して、授業の一層の充実を図る必要がある。  |
|      |                            |                   | 13   | 土曜自習教室及び長期休業中の補講授業を充実させる   | 16       | 68    | 12    | 0     | 4     | 3.9   | 3.6  | ・土曜自習教室は一定の定着を見ているが、参加生徒の減少という課題もあり、一層の充実方策の検討が必要である。   |
|      |                            | 効果的な学習            | 14   | 生徒の実態に応じた効果的な授業展開を図る   | 26       | 50    | 18    | 0     | 6     | 3.9   | 4.0  | ・各教科において、考查結果等も踏まえ生徒の実態に応じ工夫された授業に取り組んでいるが、考查結果の分析や共有については時間の制約もあり不十分な部分も見られる。また、教科として生徒に身に付けさせたい学力を明確にして、指導計画を立てる必要がある。      |
|      |                            |                   | 15   | 考查結果を分析・評価し、その結果を教師間で共有して授業改善に役立てる                               | 12       | 44    | 32    | 4     | 8     | 3.3   | 3.2  | ・成績処理システムの改善については、今年度から改正された評価方法が実施され、これまでの評価面での課題が改善され、自己評価が上がった。  |
|      |                            |                   | 16   | 考查結果を面談等の資料として生徒と共有し、学習指導改善の材料とする                                | 18       | 60    | 8     | 2     | 12    | 4.0   | 3.6  | ・成績処理システムについては、使用方法に関する講習会を実施し、活用の一層の充実を図ることも必要である。   |
|      |                            |                   | 17   | 成績管理システムの改善を図る(評価ソフトの見直しと開発)                                     | 18       | 54    | 12    | 0     | 16    | 3.9   | 2.4  |   |
|      | 生徒指導四綱領「質素・剛健・自重・自治」に基づく指導 | モラルとマナーの向上        | 18   | HR、集会(全校・学年)を通して、社会の一員としてのマナーを身につけさせる                            | 10       | 62    | 16    | 8     | 4     | 3.5   | 3.5  | ・自重自治を実践させるための「自由」と一定の「規律」の相克は本校の指導体制の宿命でもある。その中であって、さらに自覚を促す指導、自律を促す指導に組織的に取り組むとともに、通学状況など地域住民の理解を得るための努力を続ける必要がある。          |
|      |                            |                   | 19   | 登下校指導を通して、通学マナーを徹底させることを学校全体として行う                                | 14       | 68    | 14    | 4     | 0     | 3.7   | 3.7  |   |
|      |                            | 学校行事を通しての人間形成     | 20   | 様々な学校行事を通して生徒のリーダー性を育てる  | 32       | 60    | 8     | 0     | 0     | 4.2   | 4.0  | ・様々な行事が生徒自身の手によって企画・運営されている。その中で、生徒たちは自分の役割を果たし、リーダー性を育てている。教員はその主体性を育む姿勢を継続していく必要がある。  |
| 進路指導 | 進路の探求                      | 21                | 保護者や卒業生を講師としてキャリアサポートから話を聞く会等を通して、生徒の職業観を育成する。           | 32   | 64       | 0     | 0     | 4     | 4.3   | 4.2   | ・1年生対象の「キャリアサポーターから話を聞く会」、「神戸大学キャンパスツアー」、2年生対象の「出張講義」をはじめ、「東京みらいフロンティアツアー」、研究室訪問など、生徒の進路意識を高める体系的なキャリア教育の体制が整ってきた。引き続きこの取組の内容の充実を図るとともに学習指導へ波及させる手だてを考へていく必要がある。 |   |
|      |                            | 22                | キャンパスツアー(神戸大学)、出張講義等を通して、生徒の大学・学部・学科に対する理解を深める。          | 38   | 54       | 4     | 0     | 4     | 4.3   | 4.2   | ・進路情報の提供については、今年度から進路指導部が「進路通信」を発行し、情報提供や生徒の進路意識の高揚などに努めた。「進路の手引き」をはじめ多様な情報が進路指導部から提供されているが、「どのような情報を」、「どのような場面で」提示するのが効果的か、学校全体で共有できるよう取り組んでいく必要がある。            |   |
|      |                            | 23                | 多様な進路情報を提供することによって各学年と連携を図り、生徒や保護者との面談を充実させる。            | 24   | 60       | 8     | 2     | 6     | 4.0   | 3.6   |  |   |
|      |                            | 24                | 東京みらいフロンティアツアーや研究室訪問、インターンシップ事業等に積極的に参加させ、生徒の進路意識の向上を図る。 | 28   | 64       | 4     | 0     | 4     | 4.2   | 4.2   |  |   |

| 領域          | 評価の観点         | 評価項目                | 番号  | 具体的方針(実践目標)                                   | 26年度自己評価 |       |       |       |       |       | 25年評価  | 本年度の成果と次年度への課題   |
|-------------|---------------|---------------------|---|---|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
|             |               |                     |   |   | 5 (%)    | 4 (%) | 2 (%) | 1 (%) | 0 (%) | 26年評価 |  |  |
| 特色ある教育課程の充実 |               | 教育課程の検討             | 25  | 生徒の現状に適した教育課程の編成を図る                           | 8        | 40    | 26    | 12    | 14    | 3.1   | 3.8  | ・70分授業のあり方等について、委員会で検討することができたが今後も目指すべき学力像などを踏まえ、協議を続けていく必要がある。<br>・コースについては、教育課程特例校制度による特色ある教育課程について、実施状況やその成果を確認しながら、工夫改善に取り組み続けることが求められている。   |
|             |               | 総合科学類型の学校設定科目の充実を図る | 26  | 総合科学類型・未来創造コース委員会を機能させ共通理解を図る                 | 12       | 60    | 16    | 2     | 10    | 3.7   | 3.8  | ・類型での取組は県教育委員会だけでなく文部科学省からも評価を受けている。「教育課程特例校」、「中・高校生の社会参画に係る実践力育成のための調査研究事業」の取組を含め、類型・コース委員会を中心に、職員の共通理解のもと、これまで以上に研究・実践を深めていく。  |
| 課題教育        | 保健・安全教育の充実    | 生徒・教職員の主体的な健康づくり    | 27  | 保健指導プリント・保健ジャーナル等を発行し、心身の健康の自己管理能力の向上を図る      | 20       | 74    | 2     | 0     | 4     | 4.2   | 3.9  | ・保健委員による「保健ジャーナル」の発行等により、生徒の公衆衛生、健康管理についての意識を啓発した。<br>・学校医を交えた衛生委員会を開催し、生徒・教職員の主体的な健康づくりについて協議できた。その内容を全体に伝えるように努める必要がある。<br>・キャンパスカウンセラーが昨年途中から週1回へと配置増になり、多くの生徒、保護者が利用するようになってきた。そのことにより、悩みを抱える生徒によりきめ細かく対応することができた。 |
|             |               |                     | 28  | 保健環境部からの情報発信や、保健指導を通じて、生徒の公衆衛生に対する意識の向上を図る    | 14       | 66    | 16    | 0     | 4     | 3.8   | 3.5  |  |
|             |               |                     | 29  | 学校医健康相談・キャンパスカウンセリングの積極的な活用を推進する              | 16       | 70    | 2     | 2     | 10    | 4.1   | 3.7  |  |
|             | 生徒の事故対策指導     | 30                  | 運動部生徒への安全講習会(6月)を実施する                       | 16  | 70       | 2     | 0     | 12    | 4.1   | 3.9   | ・今年度から新たに生徒指導部が実施した自転車通学者への講習会も含め、安全講習会や心肺蘇生法講習会等は計画的に実施できた。また、熱中症等の不具合も幸いほとんど発生しなかった。一方、部活動等学校管理下の怪我等による学校安全会の給付は例年通り高水準であった。これは、限られた時間で精一杯全力で練習しようとする生徒と、小さな怪我でも医師の治療を受けさせていただけの保護者の対応による部分も大きい。 |  |
|             |               | 31                  | 外部団体の指導により、1年生全員と教職員を対象に、心肺蘇生法とAEDの講習会を実施する | 24  | 68       | 6     | 0     | 2     | 4.1   | 4.0   |  |  |
|             | 人権教育の充実       | 人権意識を育てる            | 32  | 人権に関するHRを年1回以上実施し、命の大切さや人を思いやる心を育む            | 10       | 80    | 4     | 0     | 6     | 4.0   | 4.0  | ・人権学習は計画的に進めることができた。引き続き、生徒の人権意識の醸成に努めたい。<br>・今年度はネットトラブルに関する生徒向けの講演会を実施し、人権意識の高揚に努めることができた。   |
|             |               |                     | 33  | 講演会や映画鑑賞会を実施し、人権尊重の精神を高める                     | 14       | 74    | 2     | 0     | 8     | 4.1   | 4.0  | ・昨年度、いじめ防止対策推進法の施行を受け、本校の「いじめ防止基本方針」を策定した。この基本方針に基づき、生徒一人一人が安心して伸び伸びと過ごせる学校作りを継続して進めていく必要がある。  |
|             | 国際理解教育の充実     | 自国や外国の歴史・文化の理解      | 34  | インターナショナルデーを生徒主体で企画・開催する                      | 4        | 34    | 4     | 16    | 40    | 3.1   | 4.1  | ・本年度は、姉妹校である松江二中が本校を訪問する年度であったが、相手方の事情により、訪問が実現せず、インターナショナルデーが開催できなかったため、自己評価が低くなっている。   |
|             |               |                     | 35  | 松江二中との友好的な交流を推進する                             | 4        | 30    | 6     | 16    | 42    | 3.0   | 4.0  | ・文化祭等で、昨年3月に本校が松江二中を訪問した様子をポスター等で紹介し、姉妹校訪問の魅力を伝えることができた。   |
|             | 清潔で快適な学習環境の維持 | 学校美化・衛生意識の向上        | 36  | 床磨き・ワックスがけ・モップによる特別清掃や、通学路を中心に学校周辺の清掃を年3回実施する | 16       | 66    | 10    | 2     | 4     | 3.9   | 3.9  | ・学校美化についての評価は昨年と同様であるが、クリーンアップ週間など、生徒主体の清掃活動の活性化し、校内の一層の美化に努める必要がある。   |
| 37          |               |                     | 整美委員会を中心にクリーンアップ週間などで校内美化を啓発する              | 4   | 34       | 30    | 18    | 10    | 2.7   | 2.7   | ・施設、設備の点検と安全に関しては、補修等が必要な箇所もあるが、各部署からの迅速な情報提供により、安全の確保に努めることができた。  |  |
| 38          |               |                     | 施設・設備の点検と安全を図る                              | 4   | 62       | 18    | 8     | 8     | 3.4   | 3.1   | ・ゴミの分別については、昨年度より評価が上がっている。地球環境の問題だけでなく、経費削減の観点からも引き続き取組を強めていく必要がある。   |  |
| 39          |               |                     | ゴミの分別を徹底し、ゴミの資源化を図る                         | 12  | 68       | 16    | 0     | 4     | 3.8   | 3.2   |  |  |
| 図書室の積極的活用   | 図書室の充実        | 40                  | クラス読書会、PTAも参加しての全校読書会を充実させる                 | 12  | 68       | 2     | 4     | 16    | 4.0   | 3.8   | ・読書会については、読書会用の図書の購入などにより内容の充実を図るとともに、職員への周知にも工夫を必要とする。今年度もPTAが参加し、本校の教育活動に協働で取り組む貴重な機会となっている。   |  |
|             |               | 41                  | 図書を充実させ、環境を整備する                             | 12  | 54       | 8     | 2     | 18    | 3.9   | 3.8   | ・一方、学校予算削減のあおりで図書購入費が十分確保できていないのが実情である。外部資金の導入など図書充実のための工夫が必要である。  |  |

学校関係者評価

| 評価の観点       | 主な意見   | 評価のまとめ   |
|-------------|--|--|
| 開かれた学校づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校訪問、学校説明会など 全職員での取組の結果が出席者数のアップに繋がっている。</li> <li>・ 進学実績などがPRされることが多いが、現在のように人をどう育てるかということを大切にしたい。</li> <li>・ 学習指導で多忙なのに 中学校訪問などの教員の取組が成果につながっている。</li> <li>・ 生徒が積極的に地域社会に出て活動していることは素晴らしい。</li> <li>・ HPの充実も進んでいるが、更なる充実を期待する。</li> </ul>                                   | <p>学区拡大に伴い、職員が危機意識を持ち、兵庫高校の伝統的な良さである「校風」「行事」「部活動」等を前面に打ち出し広報活動を行い、その結果、兵庫高校の魅力が中学生や保護者、中学校に理解され、志願者増という形であらわれた。ホームページ、学年通信、中学校訪問、オープンハイスクール、学校説明会など、開かれた学校づくりに地道に取り組んだことも評価できる。</p> <p>これまでの活動の改善、継続と共に、コースの学科への改編など新たな取組に対しても、広報活動を含め充実した活動を期待する。</p> <p>卒業生(武陽会)を活用した教育活動を更に強化してほしい。</p> |
| 進路指導        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の職業観を育成し 生徒の進路意識を高める諸々の取組は素晴らしい。</li> <li>・ 具体的にいろいろな職種の人との講話を聞かせる取組は効果的であると思う。</li> <li>・ 今年度から進路指導部が「進路通信」を発行し、生徒に有効な情報を提供している。今後も継続してほしい。</li> <li>・ 「学ぶこと」と「働くこと」の関連を感じさせる活動を増やすとよい。</li> <li>・ 進学実績に偏った指導でなく幅広く進路を指導していることがよく理解できる。</li> </ul>                         | <p>進路の探求について 大学と連携した大学教員による「出張講義」、校外研修である「東京みらいフロンティアツアー」、「神戸大学キャンパスストライアル」など、各学年毎の体系的な指導が確立され、生徒が自己のキャリアデザインを構築できるようにキャリア教育が行われている。</p> <p>進路実績だけを求めず、生徒の将来の職業や生き方を考えさせる取組は評価できる。</p> <p>「進路通信」を発行するなど、氾濫する情報を取捨選択し、うまく生徒に伝達できている。</p>  |
| 特色ある教育課程の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある教育課程の成果は、生徒の活動等から十分に確認できる。</li> <li>・ 「類型・コース」から「学科」への素早い発展ができたことは 素晴らしい。</li> <li>・ 70分授業のあり方の検討など 教育課程の工夫改善に努めている。</li> <li>・ 特色ある教育課程のもと、更に工夫や改善に全職員一丸となった取り組みを望む。</li> </ul>  | <p>類型・コースの課題研究、実践活動、ボランティア活動、大学と連携した教育活動など、これまでの本校の取組が広く周囲の人々から認められて、学科への改編につながったことは評価に値する。</p> <p>これまでの活動に加えて、「ベトナム海外研修」など、新たな取組にも挑戦しており、今後もさまざまな形で生徒の主体性を育み、成長を促してほしい。</p> <p>今後も「学科」を核としつつ、学科のみならず学校全体の教育課程の充実にも努めてほしい。</p>   |
| その他         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学区拡大に伴い、本校の魅力を理解する生徒を受け入れ、兵庫高校の伝統や良さを守ってほしい。</li> <li>・ アンケート結果から、生徒は学校生活に充実感を感じている、教職員も多忙感はあるが充実感を味わってほしい。</li> <li>・ 兵庫区・長田区は、外国人も多く、多文化共生の地域で多種多様な学びができる。生徒達にはどんどん地域活動に参加することを期待する。</li> <li>・ 国際理解教育(インターナショナルデー)は、相手方の都合で実施できなかったが、今後は独自の取組を計画することで充実を図ってほしい。</li> </ul> |  |